

# 2019年度（R1年度）のWG議論の概要

資料1-2

2019.03月

2019.09月

2019.10~12月

2020.02月

2020.03月

会議等

2019.03.28  
第19回  
中環審地球環境部会  
気候変動影響評価等  
小委員会

令和1年度気候変動の影響に関する分野別座長間会及び分野別ワーキンググループ

2019.09.01  
第1回座長間会合

2019.10~12  
分野別WG会合(5分野)

- ①農業・林業・水産業
- ②水環境・水資源、自然災害・沿岸域
- ③自然生態系
- ④健康
- ⑤産業・経済活動、国民生活・都市生活

2020.02.19  
第2回座長間会合

2020.03.25  
第20回  
中環審地球環境部会  
気候変動影響評価等  
小委員会

事務局  
作業

文献情報収集、  
全体構成・評価方針の検討等

分野別影響の本文等の作成・調整

分野別影響評価案の作成・調整

テクニカルレポート原案・  
本編骨子の作成

テクニカルレポート原案の修正  
本編骨子の作成

主な  
議題

- ・気候変動適応法に基づく次期影響評価についての進め方・論点等について

- ・影響評価の進め方・構成等について
- ・報告書（テクニカルレポート）作成指針について（本文の作成要領、評価方法等の分野横断事項の確認）

- ・報告書(テクニカルレポート)の分野別影響の「本文」・「概要」について
- ・影響評価の方向性について

- ・各分野の影響の概要について
- ・影響評価結果について
- ・影響評価報告書(本編)の骨子(キーメッセージ)について

- ・第2次気候変動影響評価の進め方について
- ・第2次気候変動影響評価報告書(テクニカルレポート)案について
- ・その他(検討チーム報告等)

決定事項  
・議論のポイント

- 第1次影響評価の主な課題・留意点
  - ・「産業・経済活動分野」においては知見が少ないため、グレーリテラチャーも収集対象とする
  - ・海外の影響が日本に及ぼす影響の評価についても考慮する必要がある
  - ・適応計画策定に資する影響評価となる必要がある

- 全体構成の決定
  - ・「本編」および「テクニカルレポート」の2部構成とする
- 評価手法の変更
  - ・最新のIPCC報告等を踏まえ影響の「**緊急評価**」の評価基準を修正
  - ・気候シナリオ別に一定程度知見が確認された小項目について、**排出シナリオ別(RCP2.6,8.5)の重大性評価を実施**

- 分野別影響の本文・概要
  - ・収集した文献をもとに、各分野のWG委員と共同で本文・概要案を作成
- 分野横断的な影響の追加
  - ・近年の災害に伴う被害状況を踏まえ、「**分野間の影響の連鎖**」を新たに追加する
- 影響評価の方向性
  - ・重大性・緊急性・確信度に関する事務局案について各分野のWG委員に確認を依頼

- 分野横断的な調整
  - ・影響評価結果の横断的な調整(評価結果の修正および影響事象の追加)
  - ・重大性評価凡例の表現の変更(特に大きいとはいえない⇒影響が認められる)
- 分野横断的な影響の確認
  - ・「複合的な災害・分野間の影響の連鎖」の対象範囲や記載内容について確認を依頼し、内容を修正

- 第2次影響評価の進め方
  - ・2019年度の第2次影響評価報告書作成経緯、評価手法に関する報告
- 第2次影響評価報告書(テクニカルレポート)の確認
  - ・各分野の影響の概要、影響評価結果の概要の報告
  - ・今後の課題 等